

「庁舎等の在り方」 を考える①

3月6日(木)に米原公民館で、第1回「米原市庁舎等整備検討委員会」を開催しました。

今後、庁舎等の整備に関して検討委員会で本格的な議論が進められていきますので、その議論結果等について継続的に市民のみなさんにお伝えします。



▼これまでの経緯と 検討委員会の役割

市では旧4町の庁舎を活用し、本庁機能を分担する「分庁舎方式」を採用しています。

しかし、合併市に対する財政支援が縮減する平成27年度以降の行財政運営を考えるうえで、分庁舎方式の検証や各庁舎の老朽化、耐震性能など危機管理面を含め、庁舎等の在り方について検討が必要となりました。

このため、市では平成23年8月に今後の庁舎の在り方の検討を行う「米原市庁舎等の在り方検討市民委員会」を設置し、平成24年3月に4庁舎および

行政サービスセンターの在り方について意見提言を市民委員会からいただきました。

【提言の内容】

- 庁舎について
 - 各庁舎に分散配置している「執務機能」を1か所に集約、併せて「庁舎」も1か所に統合
 - 「市民サービス機能」は分散配置（最低4か所確保）

- 行政サービスセンターについて
 - 他の公共施設と併設し、段階的に減らす。

この中で、各庁舎の老朽化、耐震性能、バリアフリー等の問題、庁舎維持管理経費、行政効率の低下など、さまざまな課題が洗い出され庁舎等の整備に関する検討が必要になってきました。

そこで、市では庁舎等の整備に係る基本的な方向性を示す「米原市庁舎等整備基本構想」を策定するため、「米原市庁舎等整備検討委員会」を設置しました。

この委員会では、基本構想の策定に当たっての庁舎整備の必要性、市民サービスの機能の在り方、基本理念、基本方針、庁舎の規模・機能・位置などについて



米原市庁舎等整備検討委員会
諮問書を渡す様子

調査審議し、その結果を市長に答申していただきます。
なお、検討委員会は8回の会議を開催し、平成26年度中に市長への答申を予定しています。

▼第1回検討委員会の概要

●委員長、副委員長の選出

米原市庁舎等整備検討委員会委員として市長から委嘱を受けた後、委員長には岩崎恭典委員、副委員長には高柳英明委員に就任いただくことになりました。有識者として広い見地から、また地域にとらわれない中立的な視点で、今後の委員会の議論を整理していただきます。

検討委員会の構成メンバーは、次のとおりです。

米原市庁舎等整備検討委員会 委員名簿 (敬称略)

氏名	選出団体等
岩崎 恭典	四日市大学総合政策学部 ●
高柳 英明	滋賀県立大学環境科学部 ○
三原 作義	米原市伊吹地区区長会
松居 雅文	米原市山東地区区長会
下村 良弘	米原市米原地区区長会
大下 精二	米原市近江地区区長会
日向 寛	米原市商工会
吉田 正子	米原市社会福祉協議会
北村 きの	米原市女性の会
山田 滋	米原市老人クラブ連合会
福永ひろみ	米原市子ども会育成連合会
堀川弥二郎	米原観光協会
川口 幸雄	米原市障害者福祉協会
佐々木 健司	公募委員
大野 淳天	公募委員

次回の検討委員会のご案内

第2回は、4月24日(木)19時から市役所米原庁舎会議室2Aで開催します。
会議は公開ですので、自由に傍聴できます。

●会議の内容



委員会の様子

市が策定する「米原市庁舎等整備基本構想」の位置付けや庁舎等の現状と課題について事務局から説明を行い、各委員が庁舎の現状や課題について認識を深めました。
第2回の会議では、分庁舎方式のメリット、デメリットなど庁舎の課題について議論を行うことになりました。